

委員会視察報告書

委員会名	議会広報広聴常任委員会
視察地	新潟県新発田市
調査項目	議会広報・広聴の取組（市議会ホームページでの情報発信、議会報告会）について
調査目的	新発田市議会の先進的な取組の運用方法、効果、課題を調査し、本市議会の広報・広聴活動の改善につなげるため。
日時	令和6(2024)年7月30日（火）午前10時30分～正午
場所	新発田市役所4階 委員会室
調査概要	1 市議会ホームページでの情報発信について 平成27年1月から現在の市議会ホームページの運用を開始。市ホームページから独立したサイトで運用。平成15年5月臨時会から会議録検索システム、平成29年2月定例会から議会中継が掲載されている。 （1）分かりやすいホームページの作成について （重点を置いたポイント、工夫など） ①市民の関心が高いと考えられる本会議等の「議会中継」「会議録検索」「議会の予定」をトップ画面に配置し、ワンクリックで閲覧ページに入れるようにしているなど、トップ画面の工夫をしている。 ②議会中継は議事日程や一般質問の質問者ごとに中継を閲覧できるようにしている。 ③会議録検索については、検索したい言葉の複数検索ができるようにしている。 ④各画面に他ページの入口を表示し、関連するページへの移動を容易にしている。 ⑤議案や請願の審査結果が時系列で表示されており、過去に提出されたものを検索して調べることが容易になっている。また、スマートフォンサイトも設置しており、様々な世代が利用できるようにしている。 （2）一般質問、代表質問の要旨公開の経緯について

- ①市議会ホームページでは、平成 29 年 2 月定例会から要旨の公開を開始。
- ②現在、各議員が一般質問等通告書を事務局に提出する際に、合わせてワードデータも提出してもらい、完成したものを一般質問初日の前日までには掲載している。
- ③紙ベースのみで提出された通告書の対応が課題となっている。

(3) ホームページ管理運営の費用について

- ①議会中継システム運営委託料 1,293,600 円／年
- ②映像データ加工料 1,306,800 円／年
- ③会議録検索システム運用委託料 660,000 円／年
- ④会議録データ加工料 435,930 円／年
- 合計 3,696,330 円／年（令和 6 年度当初予算額、税込）

2 議会報告会について

(1) 議会報告会・Web 議会報告会の詳細について

（企画・運営方法、周知面での工夫など）

- ①議会報告会は議会運営委員会主導。「市民への情報提供及び市民との協働を積極的に推進する」という『新発田市議会基本条例（平成 21 年 4 月施行）』の理念を具現化するため、平成 22 年度から実施。今年の 5 月で 23 回目。議会運営委員会で各会派からの意見を集約し、実施回数、班編成、実施会場、テーマなどを決定して行っている。
- ②Web 議会報告会は広報広聴委員会主導。ライブ配信することで若い世代にも議会に興味を持っていただき、リアルタイムで意見交換がしたい、という広報広聴委員会の思いで、令和 2 年度に試行的にスタート。今年の 5 月で 7 回目である。広報広聴委員会で実施日、出演議員などを決定し、議会報告会に準じて内容を決めている。
- ③周知方法について（議会報告会・Web 議会報告会）
 - ・議会だより掲載
 - ・ポスター掲示とチラシ設置（本庁舎・各支所等 7 か所程度）
 - ・自治会長へ案内郵送
 - ・市公式 LINE
 - ・デジタルサイネージ（本庁舎・イクネスしばた）
 - ・市街地循環バス「あやめバス」車内の情報発信モニター

利用（※次回から利用予定）

議会報告会を開催します！

議会報告会では、令和6年度新発田市一般計予算関係を中心とした2月定例会で審議された内容を報告するほか、意見交換も行います。

【議員定数及び議員報酬に関する特別委員会】において、今後、議員定数や議員報酬について検討を進めるにあたり、市民の理解からの意見をお聞かせします。

※事前の申込みは必要ありません。

※どの会場に出席されても構いません。

開催日	時 間	会 場	2 楼	各議員の説明議員
5月25日 (土)	午前10時～	市役所生涯学習センター	2 楼	1 楼
	午前10時～	市役所生涯学習センター	3 楼	2 楼
	午後1時30分～	市役所生涯学習センター	2 楼	3 楼
5月31日 (金)	午後3時～	健康プラザしんじ	3 楼	2 楼
	午後5時30分～	市役所生涯学習センター	1 楼	2 楼
Web 議会報告会 5月26日 (水) 午後7時～				
説明議員 比佐正一、五十嵐良一、小松はるみ、高野重雄、高橋 浩、高橋信雄、高橋 浩				

Web議会報告会について

※当日(YouTube live)のチャット機能でいただいた質問にリアルタイムでお答えする予定です。

※すべてのご質問・ご質問にお答えできるとは限りませんが、できるだけお答えいたします。

【参加方法】

新発田市議会のYouTubeチャンネルでライブ配信します。

右の二次元コードを読み取って頂く下さい。

※当日、チャンネル名を確認をお願いします。

※ライブ配信は、録画や、ダウンロードもしていただければ、どこからでもご覧いただけますが、チャットへの参加にはYouTubeへのログインが必要になります。

二次元コードを読み取るための画面になります。

【議員定数及び議員報酬に関する特別委員会での検討について】

3月17日に行われた「特別委員会成人定数・報酬の異議」に参加者に議員報酬に関するアンケートを行いました。

詳しくは、次号以降の議会化よりお知らせします。

議会だより

(2) 市民の参加状況について

(参加者数、性別・年齢層の推移など)

- ①参加者は議会報告会では最大は141人。最少は21人。庁舎移転、図書館建設など大きな問題がある時は参加者が多い。最近は災害問題などへと関心の内容が変わってきている。

Web 議会報告会は230人から131人参加。当日参加をどうやって増やすかが課題となっている。

- ②性別・年齢層は8割以上が男性、参加者年代層は60～70代が圧倒的であるが、令和6(2024)年5月実施の議会報告会は30～50代の参加が若干であるが増加している。

(3) 質疑・意見交換について(実施方法など)

①議会報告会(令和6年5月の実施内容)

- ・議会報告 <報告概ね20分 質疑概ね20分> 令和6年度予算を中心に2月定例会での審議状況等を報告。

- ・意見交換 <概ね40分>

【テーマ】議員定数及び議員報酬について

【その他】市政や議会に関して意見交換

【参加者配布】

	・ 次第 ・ 市議会だより第 151 号(5 月 15 日発行) ・ アンケート ②Web 議会報告会（令和 6 年 5 月の実施内容） ・ 議会報告 令和 6 年度予算を中心に 2 月定例会での審議状況等を報告。 ・ 意見交換 【テーマ】 議員定数及び議員報酬について 【その他】 市政や議会に関して意見交換 【チャット機能を利用して質問等を受付】 全体で 1 時間程度 （４）市民から寄せられた意見について （意見等の具体例、取扱方法、施策等に活用された事例） ①意見等の具体例 【予算審査等議会報告】 ○加治川地域の過疎債及び過疎地域についてどんな取組を行っているか。 ●能登半島地震の際、避難所が寒かった。避難所の備品等の予算計上されたか。市議会で議論されたか。 【意見交換：議員定数、議員報酬について】 ○定数は少し減らしても良いと思う。 ○若い世代が政治に参加するには、現在の議員報酬では少ないと思う。 【意見交換：その他】 ●蔵春閣周辺でランチ難民がいる。観光客受け入れのためにも周辺に食堂が必要ではないか。 ●ふるさと納税の返礼品で奥只見丸山スキー場のシーズン券が人気だ。当市スキー場でも考えてはどうか。 ○気軽に参加できる議会報告会を検討してはどうか。 ●印・・・「行政側へ伝える」と回答した件。 ②議会報告会実施後の流れ 実施・まとめ 担当議員が実施報告書作成 ↓ 班長から委員長へ 議会運営委員会にて班長が実施報告 ↓ 委員長から議長へ 議運委員長から議長へ実施報告書提出
--	--

	↓ 議長から市長へ 書面提出（「行政側へ伝える」とした件のみ） 総務課が担当課の対応を取り纏め市長決裁。 （5）Web 議会報告会に対する市民の反応について 対応はチャットで対応 以下、チャットに寄せられた意見 ・ 市民 1 人当たりの歳出額、その他 19,799 円となっていますが、どのように使われていますか？ ・ 研修に他市町村に行かれたようですが、目的テーマと成果を教えてください。 ・ コロナ対策ご苦労さまでした。新発田市として今後の活性化対策の妙案は決算から見えるものはありましたか？ ・ 市民として、議員定数削減は賛成です。現職の議員さんはどう思われていますか？ ・ 議員報酬を上げる事は大切ですが市財政を豊かにする方策を教えてください。
視察の様子	 （委員会室）

	 (庁舎入口)
質 疑 応 答	質問 意見交換会の周知方法はどのようにされているのか。また、参加者はいつも同じという傾向となっていないのか。 回答 参加については自治会長にお願いしているが、自治会会長の働きかけの度合いのバラツキはある。また、参加者が固定している面もある。 同じエリアでの開催とならないように、地域の行事と重ならないように気を付けている。現在、平日の午後3時と7時の開催であるがこの時間帯での開催は今後検討が必要。 質問 Web 開催について視聴者の把握はされているのか。 回答 年代別・男女別の把握は困難であるが、議会だよりで若い人達への呼びかけに努めている。チャットでの参加やアーカイブでの視聴もされているが、年代の高い人が多い。 質問 ホームページの閲覧の把握はされているのか。 回答 業者からしてもらっている。 質問 議会報告会の見直し作業はどのようにされているのか。 回答 言葉使いや内容の工夫など、どのようにすれば市民に議会の事を伝えることができるのか議会で協議してもらっている。ゲストや有名人の活用など今後、チャレンジして行きたい。

委員会所感	【星野幸彦委員長】 情報発信において、新発田市議会のHPはトップ画面から目的情報へのアクセスなど非常によくできた構成となっていた。柏崎市議会のHPは柏崎市のドメインURLの中に展開する一つのコンテンツとなっているのに対して、新発田市議会は議会独自のURLを持つ事が要因だと思う。構成の自由度を上げてより利用しやすいHPとするためには独自化は検討すべきではないかと思った（課題：予算はどうか 誰がメンテするのか）。 Web 議会報告会については興味深い取り組みではあったが、配信のための機器や技術について新発田市においても対応できる議員への負担が大きく柏崎市での開催はハードルが高いのではないかと思った。 【三宮直人副委員長】 ホームページについては、見やすく使いやすくなっており参考になった。 柏崎市議会においてはホームページ中心に活用しているが改善の余地は多くある。また、他の SNS の活用も検討してきているが負荷や効果の面から進んでいないのが現状である。この際、独立した URL を持つなどホームページの活用に集中し検討してはどうか。 【山崎智仁委員】 新発田市議会のホームページの見やすさ、知りたい情報に到達し易くする工夫として、市民の関心が高い項目を重視し、ページ内の階層を減らす工夫をされている点が参考になった。 令和2年度から実施している Web 議会報告会に関しては、当初、機材や編集に詳しい議員の協力があつたこと、また試行をしながら、議員が中心となって運用のマニュアル化や使用機材の予算化が図られた点を今回の視察で知ることができた。 【三嶋崇史委員】 広報の部分では、新発田市議会ホームページの概要と情報発信の説明を受けた。市民目線に立ち、分かりやすい、検索しやすいHPとなっている。 広聴の部分では、市議会基本条例の理念を具現化するために議会報告会を実施し23回目となる。私が注目した点は、約15年続けている議会報告会だが、市民参加型を積極的に取組、
-------	---

若い世代へも裾野を広げ、Web 議会報告会を自前の機材を持ち出し開催しているところである。

常に市民目線を重要視して、広報広聴の理念を基に取り組む姿勢を学んだ。

【近藤由香里委員】

新発田市議会のホームページは非常にわかりやすく、使いやすい。その理由は「閲覧者・視聴者の目線」に立って構築しているからだと思う。トップページ画面が整理・細分化されているので、ワンクリックで知りたい情報にアクセスできる。また、スマートフォンサイトも構築され、利便性が高い。

また、議会報告会は、対面型は議会運営委員会が、Web 型は広報広聴委員会が主体となっている。Web 型報告会には、対面型と同時開催（いわゆるハイブリッド型）もしくは、対面型の代替手段としてのオンライン開催のイメージがあったが、新発田市議会では、対面型と別に設定し、YouTube での配信に対するチャットを通して意見交換を行う手法であり、参考になった。

柏崎市議会においても、現在のホームページや意見交換会の在り方を見直す時期に来ていると思うが、まずはアンケート等により市民の意向や満足度を確認した上で、「誰のために」「何のために」行うのか、柏崎市議会基本条例とも照合しながら、検討する必要があると感じた。

【西川弘美委員】

当日、議会運営委員会、広報広聴委員会の議員（委員）、議会事務局担当者から対応頂いたことで、具体的な内容を確認でき参考になった。「広報広聴」の目的として、「伝わること、伝える努力が大事」と捉えていると説明があり、ホームページの見やすさや、議会報告会の運用の工夫につながっている。

議会報告会は従来の対面形式の他、令和2年度から若い世代にも議会に興味を持って頂くために Web 議会報告会を行っている。いずれの報告会もテーマ・ルール決め、出た意見の当局への報告の流れ、アンケートのまとめなどが整っている。Web 議会報告会については、機材や配信に係る労力が必要なため、今後もし当市で導入を検討する際には、役割分担や外注体制など、検討しなければならない課題が多いと感じた。

【五位野和夫委員】

- ・市議会ホームページでの情報発信については、トップ画面で月間スケジュールが一目でわかる事。議員の紹介など各項目がいくつもの階層に入らずに知りたい情報が得られるようになっていく事は柏崎市議会でも改善を図る必要があると感じた。
- ・議会報告会については、「市民への情報提供及び市民との協働を積極的に推進する」という新発田市議会基本条例（平成 21 年 4 月施行）の理念から、議会運営委員会の主導で運営されている。柏崎市議会においても、議会報告会の運営主体をどこに置くのかについてあらためて議論が必要ではないかと感じた。
- ・Web 議会報告会はより多くの市民から議会への参加と意見を寄せてもらい、「市民への情報提供及び市民との協働を積極的に推進する」という事に資するために取り組む事の必要性はあると考える。
しかし、ライブ配信やチャットの対応は新発田市では議員で行っているが、柏崎市議会で行うには、まだまだハードルが高く業者委託などでないと難しいと感じた。

【相澤宗一委員】

- ・ホームページについてはわかりやすさを求め、市民の関心が高いとされる「議会中継」「会議録検索」「議会の予定」がトップ画面の中央に大きく位置している。ワンクリックでストレスなく閲覧ができること、特に「議会中継」では議事の進行ごとに頭出しができることは、タイパを意識する方にとっては親しまれるものと思う。
- ・議会報告会はリアル（対面式）とWebの2種類を織り交ぜて行っていた。若い人たちを巻き込む意識が高く、質問についてはチャットにて対応をされている。参加者年齢の調査はしていないが、もらう質問内容等で大体の世代が想定できるとのこと。実施ごとに挙がる課題に対し、検討を重ねトライアンドエラーで進めているチャレンジ精神を見習いたい。

【阿部基委員】

新発田市議会においては先進的な取り組みとして、Web 議会報告会や市ホームページから独立したサイト運営を行っており、開かれた議会を目指すために学ぶ点多々ありました。

柏崎市議会として目指すところではあるものの、議会事務局

	職員の負担が多くなることは避けなければならないことであり、立ち上げて終わりではなく、議員がどこまで独自に運営を行えるのが課題であると痛感しました。 今後、更に調査、研究を進め、先進的な議会であると胸を張れるよう努めます。 【春川敏浩委員】 市議会ホームページは、平成 27 年 1 月から現在の運用を開始し、市民に関心の高いとされる本会議の議会中継や会議録検索、会議の予定をワンクリックで閲覧ページに入ることができ検索しやすくしている。また、トップ画面その 2 では、当日の会議の予定や中継の有無、月間スケジュールが一目で分かるように工夫されている。 会議録検索や調べたい内容がスムーズに検索できるシステムになっていることはとても良い。 市民に関心のある事案を分かり易く検索できることは、柏崎市においてもさらに検索しやすい工夫は共感できる。 議会報告会・Web 会議報告について年間 2 回実施し、参加人員が少ないときは市として問題がないときであると分析している。コロナ禍の影響もあり 4 年間は参加者が激減したとの報告であった。 参加人員を如何に増やすかは、柏崎市にとっても同じ課題である。
--	---